

地場産品で地域の魅力を発信したい

更木結つこ工房代表

福地 実栄さん



更木地域の農産物を使用しお菓子などの生産・販売を行う「更木結つこ工房」が4月、同地域内にある旧農協施設の一部を借りて開設しました。同工房は、更木ふるさと興社や施設管理者などの支援を受け、地域づくりなどを通して一緒に活動している地元的女性5人が設立。その代表を務める福地さん(臥牛)は、「前から地元農産物などを使った加工品などで、地域の魅力をPRしたいと思ってた」と話します。

以前から更木ふるさと興社の桑商品や臥牛とうふ工房の「ふしうしとうふ」などを材料としたお菓子を作って、友人や地域の集まりなどで振る舞っていたという福地さん。桑茶入りのトーフケーキやクッキーが、ヘルシーで甘過ぎないと好評だったことから、地域のイベントなどで販売していました。工房で

は、このほか餅菓子「桑茶入りあげがらす」など桑を使った商品以外にも、「おふかし」や「焼肉のタレ」など10種類以上を作って販売。また、新商品の開発にも取り組んでいて、「地域の人たちが当たり前とすら思っているもの、他にはない素晴らしいものがたくさんある。これから手作りの工芸品なども作りたい」と意欲的です。

将来は、工房がお客様の情報交換や憩いの場になれば

3 時までは販売しています。

摂食回復支援食「あいーと」

「あいーと」は、病気や高齢などでかむ力が弱くなった人への刻み食や流動食などに代わり、食事本来の見た目やおいしさなど食べる楽しみ、満足感を提供したいとイーエヌ大塚製薬が開発した調理済み冷凍食品です。食材の形や色、味は普通と同じですが、かまずに舌でつぶれるほどの柔らかさが特徴です。これは酵素の働きにより、食品に含まれる繊維を偏りなく均等に絶ち切る同社の独自製法によるもの。調理された食品は栄養価が損なわれず、料理の外観や風味を大切に型崩れしないよう冷凍され、温めるだけで食べられます。和洋食など30品全てが北上工場で作製され、全国配送されています。

イーエヌ大塚製薬株式会社 北上工場

相去町山根梨の木43-94 問い合わせ窓口 ☎ 03-3515-0170

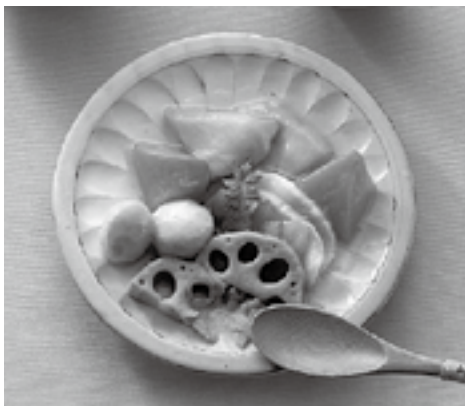
「あいーと」公式ホームページ <http://www.ieat.jp/>



Made In KITAKAMI

たかみ生まれ

市内製造業の製品をご紹介します



人気の高い「筑前煮」。スプーンを軽く押し当てただけでレンコンがつぶれる柔らかさです



中央図書館 ☎ 63-3359 江釣子図書館 ☎ 77-2215 和賀図書館 ☎ 72-2322  
 中央図書館のホームページ <http://www.library-kitakami.jp/>

## 《7月の新着本から》

▼ 一般書	シフォン・リボン・シフォン	近藤 史恵
	尋ね人	谷村 志穂
	武曲	藤沢 周
	まひるの散歩	角田 光代
	夜の国のクーパー	伊坂 幸太郎
▼ 児童書	オリンピックヒーローたちの物語	大野 益弘
	ずら〜リイモムシならべてみると	高岡 昌江
	そうじきのつゆやすみ	村上 しいこ
	なみだひっこんでろ	岩瀬 成子
	ものまね名人ツノゼミ	森島 啓司

## 《おすすめ新着本》

『ももこのまんねん日記2012』



さくら ももこ／著  
集英社

父ヒロシや息子のこと、東日本大震災のことなど、日々の暮らしを「ももこ流絵日記」でつづったエッセイの最新刊です。

## 《8月のイベント情報》

### ■おはなし会

8月12日(日) 午前11時～11時30分 中央図書館  
 8月19日(日) 午前11時～11時30分 江釣子図書館

### ■こども映画会スペシャル

8月2日(木) 午前10時30分～11時30分 中央図書館  
 8月3日(金) 午前10時～11時 江釣子図書館  
 8月4日(土) 午前10時30分～11時30分 和賀図書館

### ■こども映画会

8月25日(土) 午前10時30分～11時30分 中央図書館

『こおり』



前野 紀一／文  
福音館書店

水が固ってできる「こおり」。おいしいかき氷から流氷まで「こおり」について考える子ども向けの科学の本です。

5月に小金井市を訪問した災害協定を結ぶためである。武蔵小金井駅周辺は、最近整備されたばかりの真新しいビルが建ち並び、緑も多く爽やかさを感じる街並みである。北上市は大正10年の展勝地開園の際、山桜の小金井桜を譲り受けていて、陣ヶ丘を中心に多くの小金井桜を見るこゝとができる。この桜が縁となり長い交流関係を続けている。昨年の震災でも、直後に物資の支援をいただき、当市の紹介で大船渡市の復興支援を行っている。去る2月に稲葉市長が大船渡市訪問の際にお寄りいただいたとき、災害協定が話題となり、今回の締結となったものである。

### 小金井市との桜交流



北上市長  
高橋 敏夫

市内を案内していただいた。小金井桜発祥の玉川上水をはじめ、多くの施設や公園に北上市から寄贈と書かれた桜が大事に育てられていた。玉川上水は、かつて歌川広重が描いたほどの桜の名所だったが、今は一部始まった復元区域を除いて、残念ながらケヤキなどのうつそうとした林になってしまっている。

同行してくれた名勝小金井桜の会の石田精一さん(写真右は、ここをなんとか復元しようと奮闘中である。北上市にも何度もお越しいただいている。今年1月に開催した展勝地開園90周年記念フォーラムにも、大勢の仲間と共に訪問していただいたばかりだ。現在82歳だそうだが、これからも、玉川上水の小金井桜を復活させるために、元気で頑張っていたいただきたい。展勝地開園100周年で、ぜひ自慢話を聞かせてもらいたいものである。

協定締結後、北上市から里帰りした小金井桜を中心に、稲葉孝彦市長(写真中央)自ら

